【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成23年9月1日(2011.9.1)

【公開番号】特開2010-37491(P2010-37491A)
【公開日】平成22年2月18日(2010.2.18)
【年通号数】公開・登録公報2010-007
【出願番号】特願2008-204576(P2008-204576)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｄ　5/03　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ 123/12　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ 201/02　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ 123/26　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ 123/08　(2006.01)
Ｂ０５Ｄ　7/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｄ　5/03
Ｃ０９Ｄ 123/12
Ｃ０９Ｄ 201/02
Ｃ０９Ｄ 123/26
Ｃ０９Ｄ 123/08
Ｂ０５Ｄ　7/24　３０１Ａ
Ｂ０５Ｄ　7/24　３０２Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成23年6月28日(2011.6.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明は、ポリプロピレン樹脂１００質量部に対して極性基含有樹脂２５～４００質量部を配合してなる粉体塗料組成物であって、
１）２３０℃、２．１６ｋｇ荷重時のメルトマスフローレイトが１５～５０ｇ／１０分、
２）粒子径が１８０μｍを超える粒子の割合が２質量％以下、
３）粒子径が６３μｍ以下である粒子の割合が１５質量％以下、
４）中位粒子径が８０～１７０μｍ、
５）圧縮度が１０～２５％、
圧縮度＝〔（嵩密度－タップ密度）÷タップ密度〕×１００
である粉体塗料組成物に関する。
極性基含有樹脂は、例えば、酸変性ポリプロピレン、エチレン－アクリル酸共重合体、エチレン－メタクリル酸共重合体からなる群より選ばれた少なくとも１種である。
本発明の塗装物は、本発明の粉体塗料組成物を、基材の一部または全面に塗装したものである。